



角田市に立地するエアロディベロップジャパンが活用する旧藤尾小

東北の宇宙産業の動向を
見ると、宮城県では東北大
学発の宇宙ベンチャー・E
levation Space が20
21年に創業。24年1月に

東北の宇宙関連産業の立地動向①

JAXA拠点やRTRI中心に集積

宮城・角田市は本年度にニーズ等調査

民間参入が進み世界的に市場規模が右肩上がりの宇宙産業。日本も市場規模倍増を目標に、政府資源の投入と民間投資の促進に力を入れており、近年では約100社の宇宙スタートアップが設立された。東北でも宇宙航空研究開発機構（JAXA）が立地している宮城県角田市と秋田県能代市が、JAXAの新たな設備投資を追い風に民間の進出を呼び込もうと知恵を絞る。福島ロボットテストフィールドが稼働した福島県南相馬市周辺でも関連産業の集積に向けた動きが活発だ（2回連載）。

は東北大学が宇宙ビジネス
フロンティア研究センター
を設置した。秋田県では能
代市にロケット実験場を有
するJAXAが液体水素
を活用した研究や施設整
備に取り組んでおり、ベン
チャー企業などが集積する
オフィスラボの整備構想も
浮上している。福島イノ
ベーション・コースト構想
が具現化しつつある福島県
浜通り地域には航空宇宙関
連企業が相次いで進出して
いる。

こうした盛り上がりを受け、本年度から東北経済産
業局とともに角田市、能代
市、南相馬市が広域連携の
検討に入った。東北経済産
局は宇宙産業の拠点形成に向
けた可能性を調査中で、A
STRO GATE（東京
都あきる野市）に業務を委

託。
具体的にはロケット打ち
上げの高頻度化・能力強化
へ、燃焼試験施設など実証
試験施設の集積が必須と考
えられることから国内の立
地状況や想定ユーザー企業
へのヒアリングを行い、産
業集積に必要な施設・設備
の調査・整理に当たってい
る。

JAXA角田宇宙セン
ター（以下JAXA角田）
が所在する角田市は今後
JAXA角田の新施設「官
民共創推進系開発セン
ター」の開所という大きな
ポテンシャルを生かし、市
内で宇宙産業の集積を図
る。ことしに入り、宇宙ベ
ンチャー向け小型ロケット
エンジン開発などを展開す
るエアロディベロップジャ
パン（東京都小金井市）が
市内の廃校を活用して立地
することが決まり、新施設
の波及効果が見られたこ
ろ。

また、本年度に
「かくた」宇宙関連産業振興
ビジョン」を策定。長期的
に「宇宙産業という新産業
により、就業機会の創出と
市内産業の多角化を図り、
持続可能な地域経済を実現
すること」を目標に掲げる。
市の主要産業は自動車、電
子と食品だが、ここに宇宙
を加えることで、市の担当
者は「リスク分散の意味で
も既存産業と宇宙産業で柱
をつくりたい」と意気込む。

宇宙産業で用いられる技術
やデータは他産業への波及
効果も見込めるという。
ビジョン実現に踏み出す
ため、本年度に市独自で立
地ニーズを調査する。併せ
て、研究開発のための「イ
ンキュベーション施設」建
設を想定した整備手法の調
査も行う。12月補正で調査
費を予算化し、宇宙産業
ニーズ調査の実績がある企
業を公募型プロポーザルで
選定する方針。調査期間は
26年度上半期までを見込む。

ニーズ調査は、宇宙に特
化した研究を行っている大
学や企業、宇宙技術を用い
た事業を展開する企業、液
体水素を扱う企業などに幅
広くヒアリングを実施し、
必要な機能・設備とコスト
を把握して立地場所を優先
的に検討する考え。

OVOL

紙、そしてその向こうに。

私たちはビジネスパートナーの価値の
輝ける水先案内人として、
「紙」と、その先を見据えた明日へ航行してまいります。

日本紙パルプ商事株式会社

www.kamipa.co.jp/

NEXCO東日本東北支
社は山形県天童市に設置す
る東北中央自動車道・天童
南スマートIC舗装工事の
落札者を大林道路に決定し
た。8月29日に開札し、落
札金額は6億5430万

市にまたない貸付型の施設
としてイメージしている。
エアロディベロップジャパ
ンのように廃校活用策も視
野に入れ、旧枝野小学校や
近い将来の学校再編で発生
する廃校の活用も探る。事
業・整備手法はPFI方式
を含めて検討する。具体化
に向けては不動産会社やデ
ベロッパーとも連携して取
り組む意向だ。

市の担当者は「新たに立
地する企業が持つつながり

NEXCO
東日本
6.5億余で
天童南